

令和3年1月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年1月12日（火）10時
- 2 場 所 中間市役所本館4階第1委員会室
- 3 出席者 教育長 片平慎一
教育委員 河本直子、衛藤修身、佐野正靖、太田かおり
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 教育部長 佐伯道雄
学校教育課長 松永嘉伸
学校指導課長 小野篤志
教育施設課長 北原鉄也
生涯学習課長 米満孝智
学校指導課課長補佐 高橋啓之
生涯学習課課長補佐 友廣慎也
学校教育課教育総務係長 野中康伸
教育施設課計画係長 林講介
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

令和3年1月12日（火）10時00分

- 1 前回の議事録の承認
- 2 報告事項
 - (1) 令和3年1月学校教育行事及び社会教育行事について
 - (2) 中間市学校施設再編基本計画策定委員会について
 - (3) 堀川開削400周年記念について
 - (4) 堀川ウォーキングの延期について
- 3 協議事項
 - (1) 令和2年度卒業式及び令和3年度入学式出席分担について
 - (2) 令和3年2月定例教育委員会の日程について

[開会時刻：10時00分]

佐伯教育部長	あけましておめでとうございます。新年初めての定例教育委員会となります。委員の皆様、今年もよろしく願いいたします。 それでは令和3年1月定例教育委員会を開催いたします。片平教育長よろしく願いいたします。
片平教育長	最初に前回の議事録の承認をお願いいたします。よろしいでしょうか。
教育委員	《了承》
片平教育長	承認ということで進めさせていただきます。それでは報告事項に入ります。令和3年1月学校教育行事及び社会教育施設行事についてです。まず、学校教育行事からお願いいたします。小野課長。
小野学校指導課長	共通行事から報告いたします。1月7日に北九州教育事務所の教育論文表彰式が予定されておりましたが、5日に中止の連絡が入りました。中間市から教育論文については17名提出して、その中から底井野小学校の佃養護教諭が優良賞をいただいております。そして8日が始業式の予定でしたが、雪と朝の凍結のため臨時休業にして、12日朝自習の時間帯で始業式をし、授業を開始しております。今日の午後が校長会議、14日が教頭会議、29日に中学校だけですが、教務主幹会議を予定しております。内容としては、来年度から中学校の新学習指導要領が完全実施になりますので、その指導要録の様式等について教務を集めて協議をしていきます。 続きまして小学校関係ですが、29日から給食週間ということで取組を進めていきます。中学校も同様に給食週間ですが、中学校も校内放送等の取組を行っていきます。 中学校ですが、12日、課題テスト、3年生については実力テストが行われます。21日が私立高校の推薦・専願入試となっております。27日、28日で公立高校の特色化選抜入試が実施されます。南中学校で15日に来年度の新入生入学説明会が実施されます。他の3校については、2月上旬に実施予定となっております。学校関係は以上です。

片平教育長

ただいま小野課長から学校関係の行事予定について説明がございましたが、それにつきましてご意見、ご質問等ございませんでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

1つは、18日東小学校で「SOSの出し方教室」というのが計画されています。北小学校も4年生、5年生と6年生に同様の教室があげられていますが、どのような内容なのかということと、北小は4、5、6年生、東小は6年生ということで学年の違いがありますが、これはどういうことなのかというお尋ねです。

次に、北小学校が13日「家庭学習強化週間」を設けていますが、私の記憶では家庭学習強化週間というのは、今まで小学校は中学校の中間考査か期末考査の時期に合わせてするという形の仕方が多かったと思います。何か意味のあることだろうと思いますので、このことについて分かっている範囲での説明をお願いいたします。

次に南小学校の18日「青少年赤十字加盟登録式」を計画されていますが、昨年と同じようなものがあったと思います。毎年されないといけないのか。あえて「登録式」が行われるのか、その辺がお分かりになりましたら教えていただきたいと思います。

それから、今月の21日から私立の専願入試が行われる予定になっていますが、本年度の入試関係で県教委は、公立高校の入試については入試内容の精選を行うということで、一定程度の精選を行って入試をするということが新聞報道になっていました。実際はどうか分かりませんが、私立高校についてはそのような配慮があるのか、またはないのか、情報がございましたら教えていただきたいと思います。

最後になりますが、特別支援教育委員会が全中学校で予定されているのですが、小学校は何も予定されていません。これは今まで気付かなかったのですが、月に1回特別支援教育委員会をどの学校も開いています。学校行事をそれぞれ見られたときに、学校はこういうことをやっているのだなど、学校の取り組みの紹介にもなるし、学校はこういうことについていつも考えているのですと、市民に対する大きな理解も得られるという思いがあります。小学校も特別支援教育委員会というのを載せても良いのではないかというのが私の意見です。

もう1つは、学期が始まったときに、いろいろな子供達が不安な状況になると、そのことによって不登校になったり、学校嫌いになっ

たり、あるいは色々な悩みを抱えているということが学期の始まりに多いといわれています。そういう意味では教育相談週間が、東小学校と中間小学校だけにしか計画されていません。学期の始めに時間をとって、子供達が何も問題なく、これから先、心配なく学校に来られるのかということの実態把握を、相談週間のような形で行った方が良いのではないかと思います。そのことについて2校しか計画されていませんので、他の学校はどうなっているかという質問です。そして、どこかでそれをすべきではないかという意見です。

片平教育長

ただいま質問及び意見がございましたが、それに対して小野課長お願いいたします。

小野学校指導
課長

まず1点目のSOSの出し方に関する学習会については、保健センターの事業で、保健センターと学校とで協議をして、実施学年等を決めております。北小学校については4年生、5年生、6年生で計画を立て、東小学校では6年生で実施されます。内容としては、「命の大切さ」の授業です。外部講師の先生が講話等をします。

2点目の北小学校の家庭学習強化週間ですが、19日に北小学校が標準学力調査を実施します。小学校全部の学校で実施しますが、北小学校は、標準学力調査に向けて家庭学習に力を入れるということで、学校独自で行われているものです。

3点目の南小学校の赤十字加盟登録式ですが、全小学校が赤十字に加盟しています。南小学校では登録式をすることによって、赤十字からの講話がございまして。その講話の内容が非常に良い内容ということで、この登録式を開いて講話をしていただくということで実施しております。今年度は南小学校だけが登録式を実施し、講話をしていただくということになっております。

4点目の入試関係ですが、公立はコロナ感染対応についてのガイドラインが出されております。私立高校についても感染防止の対策については十分とられているのではないかと思います。また、入試内容についても衛藤教育委員がおっしゃるように、公立高校の場合は若干範囲を除いて入試問題が出されるということですが、私立高校は委員会に情報が入っておりません。

5点目の特別支援教育委員会ですが、中学校は行事の中で出されていますが、小学校は担任先生等授業にずっと入っているもので、なかなか時間が取りづらいというところがあって、企画委員会や運営委

員会の中で特別支援教育コーディネーターも入っております。そういった会議の中で、特別支援教育に関する内容について情報共有をしています。

6点目の教育相談週間については、県からも学期に1回は必ずするように指導しておりますし、またそういった児童生徒理解については、学期が始まってすぐや、始まる前の職員会議の中でも、必ず児童生徒理解についての職員会議をしておりますので、そういった中で子供達の情報共有をできると思います。1月にはこの2校が教育相談週間の実施となっておりますが、2月、3月で他の学校も出てくると思います。以上です。

片平教育長

教育相談については、毎月のアンケートや観察によって様子がおかしいなと思う子供たちには、チャンス相談や呼出し相談等いろいろな方法を使いながら、個々に対応して相談を進めている学校が多いです。週間を設けて、その期間に一律に行うという方法もありますが、色々な方法を組み合わせて子供達の相談にのるということを進めております。

衛藤教育委員

分かりました。ありがとうございました。

片平教育長

他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは次に社会施設教育施設行事です。社会教育施設行事の説明をお願いします。米満課長。

米満生涯学習
課長

中央公民館です。10日曜日、なかまハーモニーホールで令和3年、中間市成人式を行いました。コロナに伴い受付開始時間を30分繰り上げ11時とし、式典は12時からといたしました。密にならないよう動線を確認した中で今年の新成人対象者は、男性163名、女性186名、計349名中、214名が参加されました。また、市外申込者58名中、51名が参加され合計265名となっております。総合司会等につきましては、中間中学校卒業生代表の方にお越し、例年同様、目立った混乱もなく式典が開催されました。

次に24日曜日、なかまハーモニーホールの小ホールにて「水遺産の未来を考える」ということで、九州各地でクリークや河川など歴史的な水利遺産を活用した事業を実施している団体を中間市にお呼び

し、シンポジウムを開催いたします。内容といたしまして、各団体の活動事例紹介と意見交換により各地が抱えている様々な課題を解決する糸口を探り、まちづくり等の参考とするものです。参加料は無料で定員は150名となっております。

続きまして、図書館です。5日から11日まで、図書館エントランスで「図書館福袋」といたしまして、職員が選んだ本3冊が入った福袋を貸し出すものです。100袋用意しておりますので先着順となっております。

続きまして、ハーモニーホールです。24日曜日、14時から展示室において「なかまアマチュア寄席」が行われます。出演者は落語の川崎亭好朝、オペラ歌謡のカナリア婦人会の方です。定員50名、参加料300円となっております。以上です。

片平教育長

ただいま社会教育施設行事の説明がございましたが、それについてご質問、ご意見ございませんでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

成人式で、男性が1人、女性が1人、成人としての主張をされましたが、あの原稿については行政がかかわっているのか、あるいは成人任せになっているのか。というのは、昨日は内容が考えられて大変感動的に整理をされていたので、すごいと思いながら、行政がアドバイスをされているのかと思ひましてお尋ねいたしました。それが1点です。2点目は24日中央公民館、九州ブロックかるた大会が和室で行われるようになっていますが、九州ブロックであれば中子連の関係の行事だと思ひます。かなり広い地域からお見えになると思ひますが、合わせるとかなりの人数がおみえになると思ひます。コロナの関係でどういう配慮がなされているのかということをお尋ねします。

もう1つは、図書館で22日の名画シアターはどのような映画で、入場予定は何人程度を考えているのかお尋ねします。

それからもう1つは、今まで気が付かなかったのですが、これまでいくつかハーモニーホールのエントランスで様々な行事が開催されていたと思ひます。成人式の時に結構人数がいたので、込み合っていました。エントランスだとそういう感じがいたしますし、なかなか距離をあけて参加するのは難しい気がするので、どのような形で配慮されているのかお尋ねしたいと思ひます。以上です。

片平教育長	米満課長。
米満生涯学習課長	<p>まずミュージック・スクエアの部分につきましては、エントランスで開催します。50名程度は入るのですが、今は30名程度に制限を設けています。</p> <p>図書館の名画シアターにつきましては、定員15名で対象者はフリー、内容につきましては世界的なクラシックギターリストとジャーナリストの恋愛物語という内容になっております。</p> <p>公民館の県子連九州ブロックかるた大会についてです。例年5名から6名のチームで戦っていたのですが、今回はコロナ対策の中で、1対1のトーナメント方式で行うこととしております。</p> <p>最後に祝辞の原稿の部分については、社会主事の森口先生が担当しています。</p>
片平教育長	<p>担当がリハーサルの時に助言をしたり、また中学校の担任の先生に相談することが多いです。私が学校にいたときは、「今度発表をしないといけない」ということで相談があり、そこで指導というか助言をしたりするなどして作り上げていくということもありました。全く手をいれないこともありますし、それぞれです。</p>
衛藤教育委員	分かりました。ありがとうございました。
片平教育長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、報告事項2点目、中間市学校施設再編基本計画策定委員会について説明をお願いいたします。</p>
北原教育施設課長	<p>それでは、教育施設課から報告させていただきます。第1回「中間市学校施設再編基本計画」策定委員会次第でございます。ここに記載しておりますように、令和2年12月15日15時から市庁舎別館3階特別会議室において、全委員13名出席のもと、次第に沿って会議を進行いたしました。当日は、お手元の別冊資料、第1回「中間市学校施設再編基本計画」策定委員会レジュメ、「中間市学校施設長寿命化計画」、「中間市学校施設整備基本計画案」をもとに、関係事項の説明を行いました。教育長あいさつ、策定委員会委員の紹介後、次第4中間市学校施設再編基本計画策定委員会設置要綱についての中で、正副委員長の指名を行い、委員長に北九州市立大学</p>

教授の内田晃様、副委員長に中間北校区まちづくり協議会会長の池田久紀様の就任が決定し、その後、委員会の運営方法、当該委員会の公開の可否について審議していただいた結果、会議は非公開、議事録を公開するという運営方法に決まりました。

次に次第5策定委員会のスケジュールとして、第1回目で策定委員会の役割や基本計画の主旨及び施設の老朽化や10の再編案に係る説明、第2回目で、子供の数の推移と将来推計、学校現場への影響等の説明と10の再編案や新たな再編案のあり方について、ご意見をいただく機会にしたい旨をお伝えし、第3回目以降で再編案を議論していただき、これに時間を要す、即ち、1回だけに収まらず、2回、3回と議論を重ねる必要が出てくることも想定されることをお伝えしました。そして、最終的に主案、副案として、2～3案の再編案を本策定委員会の再編案として、基本計画に掲げ、教育委員会に報告させていただきたいことを述べさせていただきました。また、期間中に、アンケートの実施や住民説明会の開催を検討していかなければならない状況が生じることも想定していることから、その際の協力についてお願いいたしました。

続きまして、次第6議事(1)基本計画の策定の背景と目的、(2)策定委員会の位置づけと役割についてですが、今回、策定を目指す基本計画は、中間市の実情に合った学校施設の適正配置、子供たちに最高水準の教育環境を提供できる適正規模、教育の質を高めることができる施設整備などを念頭に、目指すべき学校施設の基本的な方向性と、具体的な施設の整備方針を検討するとともに、災害発生時の避難所や地域コミュニティの拠点としての役割を踏まえ、地域に根ざした学校施設のあるべき姿を模索していくことも述べさせていただきました。

そして、本委員会は、教育委員会から依頼を受けた組織として位置付けられ、学校再編の実実施計画や基本設計の礎となる本計画の策定に取り組み、児童生徒、そして地域にとってより良い教育環境となるよう議論を交わし、再編の必要性、現在だけでなく将来の児童生徒数に目を向け、そのバランスや地域性を考慮した再編案、小中一貫校の可能性、再編に係る更新費用等を踏まえ、今後の方向性を総合的に判断しながら、未来の学校のあり方を定め、先ほども申し上げましたように、最終的に2～3の再編案の候補を計画化し、これをもって本委員会の成果とする。その後、本計画をもとに関係業務

を遂行しながら、令和7年度の新学校開校を目指していくことをお伝えしました。

続きまして、3番目の議事、教育環境の現状について、レジュメと別冊資料の「中間市学校施設長寿命化計画」をもとに、学校施設の現状やこれに対する国の考え、指針を紹介した後、中間市の実情と中間市学校施設長寿命化計画の策定に至った経過やその内容などを述べさせていただきました。

その後、長寿命化改修のメリットを紹介しつつ、ほとんど全ての学校施設が築40年を迎え、またはすでに迎えながらも、これまで大規模な改修を行ってこなかった本市の実情に照らし合わせると、ほぼ一斉に長寿命化改修を行う必要があり、さらに30年後には、また一斉に建て替えの周期を迎えることとなるため、長寿命化改修には適していないという分析結果となり、このため、建て替えも選択肢に入れながら、適正規模を目的とした学校再編を検討する必要があるという結論に達したことを、述べさせていただきました。

次が最後の議事となります、10の再編案について、別冊資料の「中間市学校施設整備基本計画案」をもとに説明させていただきました。

内容としましては、この案は、将来の児童生徒数の推計や、まちづくりの方向性などを検討材料に、子供たちに最適な教育環境を整備、充実させ、教育の質そのものを向上させるために、どのように再編していくべきかを多面的に検討し、再編案として示した行政内部の素案であることをお伝えし、以降、10案の概要、特長などについて、昨年2月の定例教育委員会でご報告させていただいた時と同様に説明いたしました。

以上が、会議の概要でございますが、策定委員からは、学校再編は、市民にとって非常に大きな問題であり、いろんな方々の意見を取りいれながら検討していくこと、市の総合計画や予算に関すること、児童生徒数の推移や適正規模に関すること、また、避難所機能や通学時の安全面に関すること、そして、地域の学校の存続に関することなど、様々なご意見やご質問、ご要望等がありました。

なお、次回開催については、1月19日を予定しておりましたが、諸事情により、変更することとなり、現在、日程を調整しております。以上、ご報告申し上げます。

片平教育長	ただいま北原課長の方から学校再編基本計画策定委員会についての説明がございましたが、それについてご意見等ございませんでしょうか。
衛藤教育委員	この会議は公開されるのですか。非公開になるのですか。
片平教育長	北原課長。
北原教育施設課長	先ほど申しあげましたように、会議につきましては、傍聴者を入れない非公開とし、議事録は公開するという審議になりました。
片平教育長	それについて何かご意見ございませんでしょうか。 佐野教育委員。
佐野教育委員	今中央公民館、市立病院等、学校とは話が違いますけれども、中間市が行っています事業に対しまして、市民からの質問や反論が非常に出ている背景がありますので、ここは公開してなるべくオープンな形で、後々遺恨を残さないように、様々な意見を聞きながら進めていった方がよろしいのではないかと思います。
片平教育長	佐野教育委員からは、今までの市民への説明や進め方でご意見があったということから、会議を非公開ではなく公開にした方が良いのではないかということですね。
佐野教育委員	はい。
片平教育長	他にございませんでしょうか。
衛藤教育委員	様々な会議をするときに、市民の方々とともに考えていくということは大事なことで、それが一番市民の方々が納得されるような会議になると思います。内容によっては公開をされる部分とされない部分と様々生じてくると思いますが、私は基本的には公開ができるものであれば公開した方が良く考えています。なぜかという、先ほど佐野教育委員がおっしゃったように、今中間市の場合は中央公民館の閉館と市立病院の閉鎖についても市民が知ったのは事後であったと、しばらくしてから市民が知って、それから市民が様々な

活動や動きがあったと私は理解しております。これらの大きな原因、要因になっているのは、市民の意見がなかなか取り入れられていないことだと私は思います。そういう意味では、私は公開にすれば、公開に参加した参加者には意見を求められないと思いますが、そこに参加した人の意思がでてくるだろうという思いがあります。特に学校再編というのは、小中学校に通っている児童生徒と保護者はもちろんだと思いますが、市民の一大関心ごとだと思います。そういう面言えば、市民とともに考えていくという立場をとっていただくことが大事だし、もう1つ、教育長が11月の定例教育委員会で、保護者が子どもに学ばせたいような学校づくりをしたいとおっしゃいました。保護者が学ばせたいような学校というのはどういうものかということ、皆さんが聞いて、そして納得して学校再編に進むというのが最も良いのではないかと思います。その2つの観点から私はできる限り公開をしていくという考え方の方が良いのではないかと思います。以上です。

片平教育長 衛藤教育委員は、市民に広く示すために公開が良いのではないかと
いうことをおっしゃっていますが、他にご意見はございませんか。

太田教育委員 私も、佐野教育委員、衛藤教育委員がおっしゃったことに同感で
す。非公開ではあるけど、議事録は公開ということは決して閉鎖的
ではないと思います。しかし、学校再編というのは、市民の大きな
関心事でありますので公開がよろしいかと思います。

片平教育長 河本教育委員。

河本教育委員 私もやはり公開が良いと思います。会議をされている方は議事録が
出るからということで了承してもらえらると思っっているかもしれませ
んが、ライブで聞くのとは違いますし、実際に会議に出てみると自
分が思っていたことが、こういう形で話し合われているのだと納得
されることもあると思いますし、やはり公開しないと、市民
を巻き込んでいないととらえられるかもしれないので、公開してい
ただきたいと思います。

片平教育長 皆さんのご意見は、会議の公開ということで、市民の方に実際に会
議場に来ていただいて、内容を知っていただくことも必要ではない

かということから出されたのではないかと思います。そのようなことから、今度の策定委員会で教育委員会としては、このような意見があるということで、再度公開について議論していただく。そして教育委員会の意見を会議に出して、再提案していただく方向にもっていったらどうだろうかと思いますが、いかがでしょうか。

北原教育施設
課長

実は、今いただきましたご意見につきましては、先日市民の方からもそのような意見が出ております。教育長がおっしゃられましたように、次回の策定委員会の中でご報告させていただきます。

片平教育長

それでは、ただいま出された意見につきまして、事務局でまとめて委員会の方に投げかけるということで進めていきたいと思っております。そこで議論していただいて、再度決定していただければと思っております。よろしいでしょうか。

衛藤教育委員

もう1点ありますが良いですか。
この議事録を読ませていただいたのですが、私の感想等がございますが、どこで話したら良いですか。

片平教育長

今でよろしいですよ。

衛藤教育委員

会議の議事録を読ませていただいて感じたことは、初めての会議なので今回は基本的なことを中心に現状認識や問題点、あるいは課題に関する内容についての議論が行われたと思っています。特にその中でも学校施設の経年劣化の問題、それから児童生徒数の推移の状況、財政問題等、学校再編に関する物理的、環境的な事柄についての意見が委員の皆さんから出されたのですが、意見の中で感じることは、関心が強いということと、委員会が非常に重要だということを感じました。しかし、子供達のためになぜ学校再編なのかという、子供の論議が抜けていました。なぜ学校再編は子供のためにしないといけないのか、あるいは、どういう子供づくりのための学校再編なのかということが1回目だったので、抜けていたような感じがいたします。特にこれから先は、子供の側に立った学校再編はどうあるべきかと。あるいは、どんな子供を育てるために、またはどんな教育をするために学校再編が必要なのかという、再編に関するための意義や原点、根幹に関わる問題提起の意見交換がなされた上

での学校再編の問題に移るとというのが私は基本だと思います。子供と学校再編という関係を大事にしてほしいと思います。それは教育長が11月の定例教育委員会の時に、学校再編に関する事でこんな風におっしゃいました。「学校再編に対する施設設備の充実、教師の指導力の更なる向上、子供達が誇れる学校、保護者が学ばせたいと思う学校」と、教育長が学校づくりの一端をお話されましたので、特にそこを大事にしてほしいと思います。

片平教育長

私も全くそう思います。どの校区のどの保護者も自分の学校がなくなるのは嫌です。それは市の予算があった場合は、老朽化しているので10校全部建て替えることが一番良いことかもしれないです。しかしそれは現実的ではない。そして老朽化が進んでいく中、少子化問題もある、施設設備の問題もある、ICTも進めていかなくてはいけない、そういったことをすべて総合的に考えていく。そしてどんな学校をつくるか、子供達にどんな教育をさせたいかという、学校の魅力ある学校づくりのためにいろんな知恵を出し合って、私がいつも言っている「学びたい学校」にしていかなくてはならない。そのものを作っていくのですよということをしかり伝えていくべきではないかと思います。そこら辺がスタートではないかと思います。次回の策定委員会でもこれらの意義や意味を、病院問題や婦人の家、中央公民館とは全く違う、私たちは財政がというのではなくて、本当に学びたい子供達のためになる、中間市のまちづくりの一環としての学校をつくっていく。それに予算を集中させてすばらしい学校を作り上げるというところをしかり伝えていただきたいと思います。

衛藤教育委員

今中央公民館の問題にしても、市立病院にしても、市民はどう思っているかという、中間市は財政事情が厳しいからこうなったのだらうと思っているし、感じている人が多いと思います。それを考えると、また学校再編かと。やっぱりお金の問題かということになります。例えばこれから先、ICT教育を進めるためには今の学校ではこういうところまでしかできない。新しい学校にかえるとどこまでできると、そのことが将来の子供を育てることに繋がるのだということが、市民の間に浸透すると、「学校再編しないと進まないじゃないか」ということになりますので、将来の子供のために新しい学校をつくるのが、よりすばらしいことに繋がるのだということ

を、ぜひ皆さんに理解をしていただいて、そこからの会議があれば、その後、少子化の問題や財政の問題というのは物理的な問題ですから、皆さんが知恵を絞れば解決できるだろうと思います。根本の部分の認識、意識をはっきりさせていく方が大事ではないかと思っています。以上です。

片平教育長

そういったところを反映させて会議を進めていただければと思います。よろしいでしょうか。太田教育委員。

太田教育委員

学校再編というのは、市の活性化にとっても大きなことだと思っています。良い学校ができて、中間市民としての誇りが更に大きくなると思いますし、そんな学校があるなら中間市に住みたいということにも繋がると思います。そういった意味で中間市独自のすばらしい教育ができる学校が再編できると思っています。この再編までのスケジュールがコロナで少し遅れているのかなというところが気になっていますが、ハード面のどこに建てるのかとか、新しく建てるのか、老朽化を改修していくのか等、ハード面とソフト面、どんな教育を行っていくのかという中身、両面大事だと思うのですが、例えば、全国的に小中一貫校であったり、小中それぞれの教育であったり、非常に上手くいっている学校もいくつかございます。そういった学校の視察にぜひ行かれると良いのではないかなと思いますし、情報収集をして視察をする。例えばこの辺であれば、私も行ったことがあるのですが、大分市に碩田学園という市がやっている小中一貫校などもありますし、全国的に広島、東京等、非常にユニークな取り組みをしている学校がございますので、そういったところへ視察に行かれて、良いところは取り入れていくようにすれば良いのではないかと思います。以上です。

片平教育長

佐野教育委員。

佐野教育委員

それを策定委員の人に具体的に説明しないと、青写真が描けないというか、悪い面だけが前面に出ています。いわゆる財政的な解決のため、少子化のためというようなマイナス的なイメージ、そして意見が先行しすぎているところがあるので、成功している事例を具体的にこうしていきたいという大義的なところを策定委員会の方にも説明して、そして市民の皆さんに「こうしたい」という夢がある

ような、具体的なところが、この10のパターンだけだと浮かんでこない資料になっていると思います。もう少し分かりやすく、イメージしやすい、プラスなイメージなところもほしいところです。以上です。

片平教育長

10のパターンをつくったのは、担当者が何校か先進校を見学して作ったのですが、これはどうでしょうか。策定委員さんも先進的な学校を見ていただいて、「中間市はこんな学校をつくりたい」とイメージを持たせて話しをするという方法もありますよね。そういった学校等を見て、イメージを持っていただいて、話を進めるということも必要なのではないかと思います。

河本教育委員

学校再編にあたって、やはり保護者としては自分の子供にとって良い学校ということを考えると思います。これは3人の子を持つ親として私も当然のことだと思いますし、そういう意見が出てくるのも当然のことだと思います。「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、私は中間市の教育が上がることを第一に考えていただきたい。だから意見を出す勇氣というのも大切だけど、譲る勇氣というのも大切だと思います。市にとって本当に良い教育ができる学校をつくっていただきたい。私は本当に今回の学校再編を嬉しく思うのは、忘れられないのが、子供が中学校に進学するときに、お友達が親に中学校の見学に連れて行ってもらって、「こんな汚い中学校には入るな」と言われたと聞いて、泣いて帰ってきたのですよね。だけど私は私立というのは選択肢になかったし、学校がきれいとか汚いとかいうのは問題じゃないから、そこで一生懸命頑張りなさいと送り出したのです。今回学校が新しくなるということは、本当に素晴らしいことだと思うので、私が保護者の皆様に伝えていただきたいのは、原点に立ち戻って、より良い学校ができるよう心を1つにして力を合わせ、学校再編を考えていただきたいということです。

片平教育長

魅力ある学校をつくってほしいと、子供達のための学校を作ってほしいと、市民が誇れる、また子供達が誇れる学校をつくってほしいと、ここを忘れてはいけませんね。他によろしいでしょうか。今出された意見等を次の策定委員会でも話をしていただいて、進めていければと思います。それでは、次のその他にうつりたいと思います。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

終わった分の件ですが、お尋ねしたいことがございます。

12月26日、中央公民館の中で「わくわく科学講座」と80名の参加で、2部構成で行われたと思います。親子含めて40組。これは初めて中間市が科学講座を行った分なのですが、それに参加した親子の感想や印象が分かりましたら教えていただけませんかというのが1点です。

それからもう1つは、市議会の議会だよりというのがありますので、内容についてはそれを読めば、後で十分理解できると思いますが、先ほど学校再編の問題が出ましたので、12月議会の一般質問の中で議員さんが「学校再編の問題」「小中学校の再編」ということについての質問をされていたように思うのですが、どういう意見があったのか、概略を教えていただけたらと思います。以上です。

片平教育長

2点ございました。最初のわくわく科学講座についてお願いします。

米満生涯学習課長

わくわく科学講座につきましては、受講終了後に参加された方からの声として「楽しかった」「実験を目にすることがなかったので、今後これらの講座を開催してほしい」という意見がございました。

片平教育長

よろしいでしょうか。

2点目の議会については、部長お願いいたします。

佐伯教育部長

12月議会おきまして、3人の議員さんから一般質問をいただいております。その中で学校再編の一般質問につきましては、2人の議員さんから質問がっております。まず田口議員からは、学校施設の見直しの必要性や、学校数の検討についてのご質問をいただきました。回答といたしましては、「本市の小中学校の多くは老朽化が進んでおり、児童生徒数は3千人を下回るなど、学級数も減少していること、さらにICTなどの学習環境への多様化への対応や、施設整備の充実を図り、教育の質を向上させることが求められており、このような学校環境の諸問題を総合的に解決するため再編を検討する必要があると判断した」と回答しております。また今回再編を検討するに至りましたことは、今後40年、50年後を見据え、未来の子供達に適した学校数等を検討するためであり、あらかじめ何校

減らすとか、何校にするとといった議論は現在行っておりませんが、今後学校施設再編基本計画策定委員会におきまして議論してまいりたいという説明をしております。

次に小林議員からは「再編をどのような考え方で作業を進めているのかについて」のご質問をいただきました。回答といたしましては、「教育環境の諸問題を解決するため、令和元年度には学校再編の検討を始めるために必要な素案づくりを行い、基本計画案のとりまとめを行ったこと。そして、この素案に基づき有識者や小中学校の校長代表、校区代表等で構成する策定委員会を設置し、様々な立場の方にお集まりいただき、十分な議論を行ったうえで再編基本計画を作成したいと考えていること。今後中間市で学ぶ子供達のために、施設整備の充実を図り、より良い学校づくりを進めていくこと」を説明しております。以上が12月議会で学校再編についての一般質問の回答でございます。以上です。

衛藤教育委員

ありがとうございました。

片平教育長

よろしいでしょうか。それではその他について。米満課長

米満生涯学習
課長

堀川開削400周年記念についてです。

令和2年12月19日から令和3年1月31日日曜日まで太陽光発電のLED電球を入れた竹灯籠を堀川内に固定しております。

次にイベントについてです。

昨年12月12日土曜日に福岡コロナ警報が出されました事から、12月20日日曜日開催予定の「堀川ウォーキング」を3月7日日曜日に延期したいと思っておりますのでご報告いたします。以上です。

片平教育長

よろしいでしょうか。

それでは続きまして協議事項に入ります。まず1点目、令和2年度卒業式及び令和3年度入学式出席分担についてです。松永課長。

松永学校教育
課長

令和2年度卒業式及び令和3年度入学式の出席につきまして、事務局で出席分担の案を作成いたしました。今回は新型コロナウイルス感染症の関係で、出席者数や開催時間の制限など、今後も感染防止対策をとることが考えられますので、式の直前まで実施要領の変更がある場合にはその都度ご連絡いたしますので、あらかじめご了承を

お願いします。それでは委員の皆様のご都合につきましてご協議をお願いします。

片平教育長 卒業式でございますが、小学校が3月17日、中学校が3月12日。そして、入学式ですが、小学校が4月12日、中学校が4月9日です。出席分担当はこの案でよろしいでしょうかということです。

教育委員 <<了承>>

片平教育長 このような予定で進めていくということによろしいですね。それでは2点目、令和3年2月定例教育委員会の日程についてです。松永課長。

松永学校教育課長 2月定例教育委員会の日程につきましては、来年度の学校教職員の人事案件を審議していただくため、2月9日の午後に審議していただく必要があること、また、令和3年度の教育委員会の当初予算要求につきまして、2月中旬までに審議していただく必要があることを考えまして、2月の定例教育委員会の日程を2月9日火曜日午後2時に開催したいのですが、皆様のご協議をお願いいたします。

片平教育長 2月9日ということによろしいでしょうか。

教育委員 <<了承>>

片平教育長 それでは、2月9日に開催いたしますのでよろしく願いいたします。その他ございませんでしょうか。佐野教育委員。

佐野教育委員 今またコロナウイルスの人数が増えてきております。東京1都3県で緊急事態宣言が出されたりということで、福岡県も人数が増えておりますが、市といたしまして、福岡県に非常事態宣言が出た場合は、学校が休校になったりする目安は決めているのでしょうか。

片平教育長 それについて、松永課長。

松永学校教育課長	この度1月の初旬に文部科学省から通知がございまして、コロナウイルスの病状が昨年よりわかってきたことがありまして、小中学生は重症化することが極めて少ないとみられるので、今までは学校全体の休校という方向だったのですが、陽性になった子供達の状況をみて、保健所と協議しながら児童生徒本人だけなのか、学級閉鎖、学年閉鎖等、なるべく小さい範囲で対応してくださいと通知がきていますので、その方向で考えております。
佐野教育委員	わかりました。
片平教育長	よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。それでは令和3年1月定例教育委員会を終わります。

[閉会時刻：11時00分]

令和3年2月9日

教育委員 佐野正靖

教育委員 大田かほり